

Title	私の本棚
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学工学部
Publication year	2011
Jtitle	新版 窮理図解 No.8 (2011. 10) ,p.7- 7
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO50001002-00000008-0007

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

私の 本棚

My favorite books



● **Clathrate Hydrates of Natural Gases** クラスレートハイドレートに関する化学工学的研究の権威 Sloan 教授（コロラド鉱業大学）による専門書です。ハイドレートの結晶学的性質・物理化学的性質から研究・開発の歴史や関連する工学技術、さらには天然のハイドレートの分布に関する地質学的研究まで、天然ガスハイドレートが関わる理工学的内容を網羅した成書です。ハイドレート研究に関わる大学生・大学院生、研究者、技術者にとって必携の一冊と言えるでしょう。

● **Chemical and Engineering Thermodynamics** 化学系・化学工学系の熱力学分野における第一人者である Sandler 教授（米国デラウェア大学）著の化学熱力学・工業熱力学の教科書です。ハイドレート研究を通じて知り合った私の数少ない親友の 1 人である Sum 博士（コロラド鉱業大学准教授）の先生（博士論文の指導教員）の著作ということもあり、数ある熱力学の教科書の中から選んで使っています。熱力学の講義の準備に、ハイドレートの熱力学的研究に活躍している一冊です。

● **熱力学 (JSME テキストシリーズ)** この本は日本機械学会の出版物ですので、主に工業熱力学を取り扱っています。慶應義塾大学理工学部機械工学科でも 2 年生の必修科目「熱力学の基礎」をはじめいくつかの熱力学関連科目で教科書として用いています。熱力学は実は「力」学ではなく「エネルギー」の科学です。熱力学をしっかりと学ぶと力学だけからはわからないことがたくさんわかるようになります。熱力学を学び始める人にも、実践的に関わる人にも役立つわかりやすい本だと思います。

● **志賀直哉** 近代日本の文豪の中で私が最も敬愛するのが志賀直哉です。実家で父が全集を所蔵しているので、小説や随筆の全作品に加えて日記・書簡の類いまで全て読みました。志賀直哉の作品は「目に見えるような」描写と読点や接続詞の使用を最小限に抑えた「リズム」のよい簡潔な記述が特徴です。研ぎ澄まされたとさえ言えるその文体は日本語表現の一到達点を示したと評されます。理工学分野の学術論文でも明瞭さ（clarity）は必須の条件ですので、私たち理工系の間も志賀直哉から大いに学べるのではないかと考えています。

● **Transport Phenomena** この書名を邦訳すると移動速度論となりますが、交通手段に関するものではありません。エネルギーと物質の移動速度および流体力学を統一的に扱う学術を移動速度論といいます。エネルギーの収支を扱う熱力学とともに、エネルギー・環境問題への対応で重要な基礎をなす物理的学術といえるでしょう。この本の著者らによって移動速度論という考え方が初めて提唱されたのは 1950 年代でした。提唱以来半世紀以上を経た 21 世紀、その重要性はさらに高まっていると思います。